

平成30年度医薬品包装懇話会活動と講演テーマ要旨

☆：医薬品包装懇話会は、年間4回、8講演で開催しております。また、不定期ですが特別企画として、医薬品工場などの見学会を開催する予定であります。また、各例会終了後に、1時間程度の情報交換会を講師及び参加会員で活発な意見交換を実施しております。

☆：医薬品包装懇話会に入会した会員様には、開催日の1か月前くらいに、医薬品包装懇話会ニュースによる開催のご案内と参加申込書を郵送いたします。

☆：是非とも医薬品包装懇話会会員に入会することをお勧めします。

開催日	テーマと講演要旨
第1回幹事会 6月1日(金) Am	平成30年度医薬品包装懇話会の担当幹事、開催日程、テーマ・講師の確認および進捗状況報告 (会員登録数：137名) 出席者：大澤代表幹事、担当幹事(8名)、事務局
第145回 6月1日(金) 申込者数 134名	<p>テーマ1：『医療機関におけるGS1標準バーコードの活用状況と医薬品サプライチェーンマネジメント』 講師：名古屋第二赤十字病院 薬剤部 薬剤部長 木下 元一 氏 医療機関が調剤包装単位GS1標準バーコードを取り違い防止に活用することで、患者を守り、医療従事者も安心の恩恵を受けた。一方、安全とされた医薬品流通は、C型肝炎治療薬ハーボニーの偽造事件により薬機法省令改正が行われる事態となった。当院が国際基準にあわせて構築した医薬品サプライチェーンマネジメントについてご講演いただいた。 担当幹事：(株)ダイト 落合誠</p> <p>テーマ2：『改ざん防止、偽造防止に向けた包装技法について』 講師：大日本印刷(株) 情報イノベーション事業部 C&Iセンター IoSTプラットフォーム本部 IoST企画開発部 第3課 中曾根 聡 氏 DNPは、様々なセキュリティ媒体、認証機器、真贋判定システムなど、ブランドプロテクションに向けた取組みを展開している。今回、目視判定技術と専用器具を用いた判定技術(コバート)のホログラムを始めとする偽造防止技術について、ご講演いただいた。 担当幹事：(株)旭紙工 浦川英三</p>
第146回 9月21日(金) 申込者数 125名	<p>テーマ1：『インドネシア並びに東南アジア地域の医薬品包装の動向と今後の課題』 ① 講師：PTKingsford Holdings Director 古森 寛 氏 インドネシアの経済状態や製薬市場とその動き、インドネシアの医療保険制度から来る近年の動向、ローカル製薬企業の動き、包装資材を扱うコンバーターの動きなど、データや当社の推定を交えながらインドネシアで見聞きした内容について、ご講演いただいた。 担当幹事：藤森工業(株) 内田陽司郎</p> <p>テーマ2：『海外生産拠点(ベトナム)での医薬品・包装資材事情』 講師：NIPRO Pharma Vietnam Co., Ltd. General Manager of Administration Department 佐々木 啓晃 氏 5年間の海外駐在で経験した海外における医薬品・包装資材事情や、立ち上げの際の実際の問題点をお話します。また、海外拠点の製薬企業の立場から海外に進出している日系資材業者様に求めていること、海外メーカーを日本側で採用できるのか、などをこれまでの経験に基づいてご講演いただいた。 担当幹事：第一三共ヘルスケア(株) 金子智彦</p>

<p>特別企画 10月23日(火) 申込者数 47名</p>	<p>『㈱ツムラの茨城工場様の見学会』 今回の医薬品包装懇話会は特別企画として、我が国の伝統医学である漢方に特化した製薬メーカー、(株)ツムラの茨城工場(茨城県稲敷郡)の見学会が実施しました。 担当幹事：大澤總弘</p>
<p>第147回 11月16日(金) 申込者数 112名</p>	<p>テーマ1：『医薬品包装における医療安全対策について』 講師：(独)医薬品医療機器総合機構 安全第一部 医療安全情報室 高橋 健中 氏 本講演では、誤投与や不適切な服用といった医療事故防止を目的に発出された医薬品の包装改善に関する通知等の紹介、および、(公財)日本医療機能評価機構に報告された医薬品の医療事故・ヒヤリハット事例の中から医薬品の包装改善を行ったにも関わらず、誤投与等に至った事例の紹介、ならびに、それらの事例に対し、(独)医薬品医療機器総合機構の取り組みについて、ご講演いただいた。 担当幹事：(一社)日本血液製剤機構 滝澤良博 テーマ2：『AI とその医薬品包装への活用模索』 講師：(株)マイクロ・テクニカ 第2事業部長兼第2事業部システム3部 部長 清水 太一 氏 囲碁の試合でAIが人に勝った…AIを使った自動運転が間もなく始まる…など、最近、我々の周りにはAIを活用した夢のような話題が溢れています。ところが、医薬品包装分野にそのような話題は無く、まるで別世界です。いったいAIって何なのか、何故包装分野で話が出ないのか、実際どんな活用が出来そうか…について、ご講演いただいた。 担当幹事：(株)タケトモ 伊藤浩明</p>
<p>第148回 2月22日(金) 申込者数 133名</p>	<p>テーマ1：『医薬品の封緘見直しに関する局長通知とQ&Aについて』 講師：MSD株式会社 サプライチェーンマネジメント部 神谷 文敏 氏 平成29年1月、C型肝炎治療薬の偽造品流通事件が発生し、この事案を踏まえ平成30年8月、厚生労働省から「医薬品の封の取扱い等について」の通知が発出されました。本講演ではその内容をご紹介します。また、本通知に関連して現在準備中のQ&A案についても、ご講演いただいた。 担当幹事：ファイザー(株) 大場直美 テーマ2：『医薬品安全神話の崩壊の影響と医薬品の適正流通基準(GDP)の必要性』 講師：金沢大学大学院医薬総合研究科 メディークウォリティ・セキュリティ講座 医薬品セキュリティ研究会事務局長 特任准教授 秋本 義雄 氏 2017年に発生した偽造ハーボニー事案は従来の医薬品の安全神話を崩壊させ、我が国の医薬品関係者に衝撃を与え、薬剤師の存在意義や医薬品流通のあり方等の問題を提起しました。この偽造医薬品問題は世界規模で発生しており、我が国も否応なしに巻き込まれます。その対策の必要性について、ご講演をいただいた。 担当幹事：(株)マイクロ・テクニカ 清水太一</p>
<p>第2回幹事会 2月22日(金) Am</p>	<p>平成30年度活動実績報告、担当幹事の変更、2019年度活動方針、開催日程、テーマ・講師の検討 平成2019年度例会開催予定日：5/31(金)、9/20(金)、11/1(金)、2/21(金) 出席者：大澤代表幹事、現担当幹事(8名)、事務局</p>